



令和3年度学校だより

甲府市立南西中学校

銀杏 (いちょう)

第24号

学校教育目標 「たくましい心と体をもち 学び合える生徒の育成」

文責：校長 石井 敬

全国の『読書週間 (10/27～11/9)』とほぼ時期を同じくして、南西中でも先週まで読書週間を展開しました。期間中は本を借りると“しおり”がもらえたり、クイズに答えて“貸出券”をゲットすることができたりと様々な特別企画が用意されました。また、図書室には、子どもたちが興味のある本をすぐ手に取って読んでみることができるように「ブックガイドと紹介本」のコーナーが設けられ、本との素敵な出会いに誘う仕掛けもありました。そんな取組の工夫が功を奏し、読書週間中は図書室を訪れる生徒が増えたと司書の土橋先生がおっしゃっていました。コロナ禍にあって本来の図書室運営を取り戻すにはもう少し時間がかかりそうですが、朝読書も含め、子どもたちが本に親しむ時間と場を保障することに今後も努めていきたいと思ひます。



『読書週間』の歴史を探ってみました！

過日の図書室だよりでも紹介されていましたが、『読書週間』は戦後間もない1947年(昭和22年)、まだ戦火の傷あとが残る中で始まりました。「読書の力によって平和な文化国家をつくろう」という決意のもと、出版社や書店、公共図書館、さらには新聞・放送のマスコミ機関も加わって、11月17日から『第1回読書週間』が開催されました。そのときの反響はとても大きく、その翌年の第2回目からは、11月3日の文化の日をはさんで前後2週間を『読書週間』と定め、現在に至っています。

さらに歴史をさかのぼると、『読書週間』の前身となる『図書週間』が関東大震災の翌年(1924年(大正13年))に始まったようです。関東大震災の発生により多くの書物が消失してしまったことから、日本図書館協会が『図書週間』を提唱し、本にまつわる取り組みを行うようになりました。

戦争に敗れた2年後にしても、関東大震災が起きた1年後にしても、いずれも人々は生きることとに精一杯で、本など読んでいる状態ではなかったのではないかと思います。しかし、そんな時だからこそ、人は希望や展望、これからの生き方などを「本」の中に探し求めたのかもしれない。読書を楽しむということは、それこそが平和を実感できることであり、これから国を復興していくのだという強い力になったとも言えるでしょう。

実は、それと似たような状況が10年前にもありました。それは、東日本大震災の後です。被災地に建てられた仮設図書館には全国から寄付された数々の本が集まりました。その本に目を輝かせる子どもたちの姿が、そこにはあったそうです。地震と津波によって多くのものを失った子どもたちを勇気づけ、元気づけたものの一つが「本」だったのです。

その年の読書週間の標語は、



「信じよう 本のか」

でした。今年の標語は、

「最後の頁を閉じた 違う私があった」

です。標語一つをとっても、その時代背景が反映されているように思えます。

南西中の『読書週間』は先週まででしたが、季節は晩秋から冬へと移り変わり“夜長”の日々はこれからが本番といった感じです。いい本との出会いを・・・。

調べてみたら、『新聞週間』



というのもありました!

『新聞週間』は毎年10月15日から1週間行われ、その期間には新聞大会、新聞配達の日、新聞広告の日などの関連行事や、読者を対象にしたイベントなどが各地で開催されるそうです。その成り立ちや目的は『読書週間』とはもちろん異なりますが、活字と触れ合うという点では新聞との出会いも子どもたちには大切にしてほしいと思っています。

前号の学校だよりでもお知らせしましたように「新聞をほとんど、または全く読まない」生徒が83%にも上るといふ本校の実態を改善するためにも、毎日10分でも15分でもいいので、新聞を開く時間を作り、気になった見出しや記事を拾ってみることを習慣づけていきたいものです。

教育アドバイザーの佐藤亮子さんは、『子どもに「読みなさい」と言ってもダメ。「この人は93歳で、戦争の時にね・・・」と記事を示しながら語りかけていると子どもも読むようになる。』と言います。また、『新聞は鍋物と一緒に、色とりどりの具材(情報)が入っている。読み切るまでが短くて、しかも、わかりやすい言葉で書いてあるから子どもが読んで考え、親や大人と意見を交わすのにちょうどいい。』とも・・・。

さらに、佐藤さんは、四字熟語を覚えるのが面倒と言う我が子たちに、赤ペンで四字熟語を囲んだ新聞を見せたら「マジか!」と驚いた様子だったそうです。テストのためでなく、学校や家庭で行っている勉強が社会につながっていることを伝

えるにも新聞は格好の材料だと言います。

本と同様に、またある意味、本とは違った世界を広げてくれる新聞を、子どもたちのものの見方や考え方、視野を広げるのに大いに活用できたらと思います。

積極的に参加を!

明日23日には、毎年恒例の地域清掃活動が行われます。国母地区では「まん延防止等重点措置」が発令されている時に中止を決めたので残念ながら今回は実施しませんが、石田地区は下記の5カ所で清掃活動を行います(雨天は中止)。

コロナによる影響で地域の行事が中止になったり、行われたとしても参加を躊躇したりという状況がまだまだ続いています。また、南西中生の、地域行事への参加率が低いという実態も見られる中、今回の清掃活動への参加は地域の一員であることを自覚するとともに、地域を知り、地域への貢献を実感する絶好の機会であると考えます。

期末テスト前ではありますが、一日丸々清掃活動に費やすわけではありません。むしろ少し早起きをして活動した後の方が勉強にも集中できるのではないかと思います。皆さんが力になってくれることを地域の方々も待っています。

○時間 : 7時00分~

○場所 : 第1公園 第3公園

第4公園 元宮住吉神社

三社諏訪神社

※参加場所は自分の住んでいる地区に応じて。

